

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～

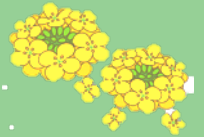


埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Week of Waste

2024年
4月



2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がろう・地域に知らせよう」



* ゲストの水上さんは右から二人目、
長谷川さんは衣笠メンの後ろ。



1. 横浜Yから2年間出向の水上真帆氏、長谷川洋輔氏の送別会。衣笠メン出席。(3/23・北浦和 Vansan)
2. 関東東部 EMC ワークショップ (4/6・東京 YMCA 東陽町センター)と二次会(ホテルルートイン)。YMCA もワイズもますます女性が輝き、その分男性も釣られて頑張るようだ。
3. 名物の見沼代用水の桜道。「き咲きてらす」(埼玉クラブの臨時会場)から徒歩5分。遠くには菜の花。(4/8) 週末だと人ゴミで絵にならない。(浅羽 撮)



今月の聖句

「(あなた方は) 同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たしてください。」

(ピリピ人への手紙 2 章 2 節)

5月「五月晴れ」例会

日時：5月26日(日) 19時～21時 (日時に注意)

会場：ZOOM (自宅に参加)

プログラム：今後の活動・拠点など

5月 夜談会

日時：5月13日(月) 午後6時～8時

会場：サイゼリア (浦和駅東口)

・気楽に知り合い見識を深める拓けた大人の会

◆ 埼玉YMCA浦和センターとの出会い

衣笠輝夫

埼玉 YMCA 浦和センターが 2024 年 3 月をもって閉館となった。数々の思い出が走馬灯のように行き来する。私が埼玉ワイズメンズクラブに入会するきっかけは埼玉 YMCA との出逢いだ。2002 年 4 月 栗原道子埼玉 YMCA 総主事就任式が浦和センター近くの日本バプテスト浦和キリスト教会(浦和バプテスト教会)で行われた。私は当時、同教会で音響を担当していたこともあり、本就任式の音響を依頼された。当日音響の準備をしていると、見覚えのある人が 2 階に上がってきてびっくり。昔神田美土代町にあった東京 YMCA 中央ランチでメンバーだった頃のリーダー 笈川光郎氏だった。



その笈川氏、栗原総主事と話をしたことがきっかけで埼玉 YMCA 入会となった。活動拠点は近くの浦和センター。間もなく怒涛のごとく埼玉クラブへの誘いが始まった。故河村氏、故紺野夫妻からのお誘いが懐かしい。すぐクラブ会員になった。活動は同じく浦和センター。ここから埼玉 YMCA 会員そして埼玉クラブ会員として同センターとの関わりが始まる。

印象深いことの一つとして、浦和センターの日常活動「キッズ及び発達障害児童等のグループ活動」がある。活動に適した場所が見つからない中、2016 年 2 月に浦和バプテスト教会で行ったことがある。多くの子ども達、スタッフ、ワイズメンに加え、教会員も参加し、浦和センターとこの教会との交流が始まった。子ども達は広くきれいな教会での活動にとっても嬉しそうだった。感謝の寄せ書きは良い記念となっている。

その後埼玉 YMCA 総主事就任式が 2016 年 4 月に同教会で行われ、栗原総主事が退任され、小谷全人氏が新総主事に就任した。多くの方々が出席したこの式典の司式を務めることができたことは光栄であり感謝している。

埼玉クラブの「心のふるさと歌声集會」も浦和センターのメモリアルである。この活動以前は継続した地域奉仕活動を行っていなかった。そこで新井廣和元総主事と世田谷ワイズメンズクラブの「すずらん会歌声集會」を視察し、同クラブの小川夫妻の協力で 2010 年に第 1 回「心のふるさと歌声集會」をここで開催できた。この活動は一人暮らしの高齢者の居場所作りと埼玉 YMCA の広報活動をも視野に入れていたが、浦和センターで 10 年間活動を継続したことで貢献できたと思う。この活動によって 30 名程の「埼玉クラブ友の会」ができた。

あいにく 2020 年春からのコロナ禍で活動を中止したが、それが収束した今、「歌声集會」再開の要望も数多く、検討し始めたところである。❖



浦和教会に集まった子供達とワイズメン (上)

子ども達からの感謝の寄せ書き (下)



総主事就任式にて司式する衣笠メン



◆ “YMCA”って会員運動でしたよね？

浅羽俊一郎



話は 2013 年に遡る。その春埼玉 YMCA (以下 Y) は創立 40 周年の記念式をバプテスト浦和教会で祝った。散会後たまたま一緒に北浦和駅に向かって歩いていた栗原総主事(当時)、衣笠メン、笈川光郎氏(東京 Y 会員)と私は東口の居酒屋 2 階で懇親することになった。そこで私は前々から気がかりだったことを切り出した。「今のままでは Y かつてのキャンプソングが忘れられる」たまたま居合わせた面子が良かったとしか思えないほど積極的な議論のあと、「キャンプソングの会」を発足させようとまで話は進んだ。一つだけ私から提案したことは会員の自主活動と位置付け、Y 職員にジムの手伝いなど頼まないこと。

その後笈川氏、衣笠メン、森井利夫氏(文教大名譽教授で Y の大先輩)、私を発起人に「キャンプソングの会」を Facebook (FB) に立ち上げた。衣笠メンは今日までマメに新旧さまざまなソング、各地からの動画を FB に掲載してくれている。(脱帽!) お陰様で登録会員は現在 778 名。思い出深いのは 2014 年秋の東山荘における日本 Y 大会でのキャンプソング・ナイトと、2019 年東京 YWCA での YM・YW キャンプソング・フェスタだ。多くの有志が協力してくれた。

今もって同会は会員の自主活動として続いている。まさに会員主導の活動ではあるが、登録者が賛同者を増やそうという「運動」にまではなり得ていない。

ところで各都市 Y の記録や周年誌を紐解くと、どの Y でも職員の名前に混じって Y を精神的に、また資金的に支えた会員たちの名前を見いだす。ほとんどの会員もまず活動に顔を出し、そこで人々とつながり、ついで友人を誘うことで活動の一翼を担い、さらに地域や業界にネットワークを広げる役割を果たした。サービスと「Y」体験の喜びが見返りだった。

それが Y は事業優先・職員主導になった。で、気がつけば Y と周辺地域をつなぐ市民がいなくなり、職員や会員による会員育成の機会もやる気もなくなってしまったかに見える。Y は会員運動でしたよね？

浦和 Y が先月閉鎖した。大宮からスタートした埼玉県内の Y 運動 50 周年を昨春祝ったばかりだった。経営難に新型コロナ感染症が追い打ちをかけた。一見閉店閉鎖した他の店や団体と変わらない。いや違う。Y は運動でもある。地域や青少年のニーズに応えたい仲間さえいれば必ずや道は照らされる。運動は担い手にビジョン・やる気・勇気があり、外向きであれば動き出せる。さいたま市内に YMCA の明かりを絶やさないと埼玉クラブに与えられた課題だとすれば、Y 会員・ワイズメンとして何をなすべきかを共に考えていきたい。❖

活動メモ

◆ 関東東部「EMC ワークショップ」

4 月 6 日(土)東京 YMCA 東陽町センターで「EMC を考える集い」が開催され、埼玉クラブからは上松メン、衣笠メンと私の 3 人が出席した。総勢 34 名。

目玉は今期入会した 4 メン(女性 2 名、男性 2 名)の発表。それぞれ入ったきっかけと今活動している喜びを語ってくれた。中でも江東クラブの滝沢圭太メンは YMCA 幼稚園・リーダー・ワイズと人生の 3 局面で江東 YMCA と関わっており、彼がその都度 YMCA に戻ってきた話はよかった。江東クラブにはすでに数名の元リーダーが入会した実績があるが、日頃からリーダーと親しく出来ることが大切だと思った。



これから話が深まるというところでお開きになり、二次会はルートインの居酒屋で盛り上がった。

何が収穫だった？改めて埼玉クラブには女性が必要だとの周囲からの指摘は正しいと思わざるを得ない。年齢の壁は入りにくくする。それでも人を惹きつけるメンバーの賜物と活動の魅力を引き出すためにますますハッスルしたくなる。(浅羽 記)

◆ 4 月夜談会

8 日夜、浦和サイゼリア。テーブル二つで自然と 2 グループに分かれておしゃべり。片方で故中村哲医師のドキュメンタリービデオ上映の企画で盛り上がり、もう一方も負けじと発達障害の子どもの教育の話と、時間は瞬く間に過ぎていく。真面目なテーマでも皆が醸し出す和やかな空気に新しく参加される方もあまり違和感なく溶け込めたようだ。とにかく雰囲気明るく、料金も良心的なこの店でしばらく夜の大人の談話会を続けたい。(浅羽 記)

ゲスト：大輪・麻生・浅香・山口(武蔵野多摩クラブ)、メンバー：衣笠、堀和、浅羽(姓飲み・敬称略)



*カメラについて「V」反応？若き我らが始めた習慣！

◆ 4月の「心機一転」例会

浦和 YMCA が閉鎖した後の最初の例会。少人数ということもあって浦和駅前パルコ9階の「さいたま市市民活動サポートセンター」(以後「サポセン」)の大ロビーのテーブルを確保。思ったほど混んではおらず。まず小声で「いざ立て」を歌う。まずはいい滑り出し。場所を取る万国旗(旗と台)の代わりに浅羽が小型地球儀を持参。場所を考えて点鐘は省略。なお浅羽会長から万国旗に関して以下の発言があった。「世界に200ある国家のうちワイズの万国旗はそのごく一部であり、国を超えた交流を実践しているワイズ運動にとって象徴としても相応しくない。むしろグローバルを象徴する地球儀を今後も例会で使いたい」と。今後も協議することにした。

今回の「ジェンダー学習」は上松メンが発題。テキスト「ジェンダーを考える」のジェンダー研究の部分の要点を資料にして話をリード。資料に「まずは自分が誰かを傷つけたり、排除したりしている可能性を認識すること」という女子大生の言葉が紹介されていたが、入試問題の正解のように感じた。過去にフェミニズムが運動化し、社会にインパクトを与えたことと思うと、女子大生の発言からそのような視点は感じられなかった。(浅羽個人の意見)

ジェンダーを考える上で改めて個人の認識如何に焦点を当てるのと、社会・制度(権力)の視点から捉えるのとでは、同じ現実と向き合っている、見方が異なる面白さ・難しさに気づく勉強会だった。



サポセンロビーで親切な職員が撮ってくれました。

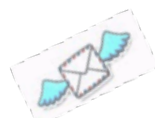
閉会前には以前提案があった「ワイズメン対象にジェンダーのオンライン学習」の企画について年度内開催、所沢・川越両クラブへの声かけ、リソースパースン(深尾香子氏、小松敏子氏など)依頼などについて協議した。

なお、当クラブ代表として衣笠メンが「サポセン」に登録されていたのを、本日浅羽会長を代表に変更する一方、サポセンのホームページへの情報記載は従来通り衣笠メンが担当することとした。

出席：伊藤、上松、衣笠、浅羽 (浅羽 記)



仲間からの郵便



◆ 今月の俳句 塀和光二郎メン (俳号 愚道)

① バリカンの坊主頭に花びらが

ほぼ毎月バリカンで6分刈にいたします。気持ちよくさっぱりとした頭の上に桜の花びらが……。絵になるでしょう。



② 一輪草斜面林に微笑みが

私の地元、川口の安行は自然が残されているところです。その斜面林に絶滅危惧種の一輪草を発見された先生が仲間呼びかけてその保存と広げる活動ほとんどをされました。市からも援助が出るようになっていたのに、心無い人に盗掘され、ほとんど見られなくなりました。それでも毎年地域で一輪草祭りが行われ、賑わいます

③ ノンアルのビールでほろ酔ひ花の宴

今年は雨の中、大宮公園で楽しく行われました。下戸の私はノンアルビールで雰囲気酔いました。

今後の主な予定



・第3回関東東部評議会

5月18日(土) @東京 YMCA 東陽町センター
今期部役員から新規役員に交代。

・第27回東日本区大会

6月1日・2日 @ 十勝

・心のふるさと歌声集会・中沢ビレッジの旅

6月24日~25日 @草津 中沢ビレッジ
衣笠メン担当

・国際大会

8月8日~11日 @タイ・チェンマイ市

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (4/18)	4	4	
夜談会 (4/8)	7	3	4

ワイズメンズクラブ とは

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は世界最大の青少年団体 YMCA を支援する社会人・成人の奉仕運動であり、若者の自立と生き生きとした地域作りを旨とする国際団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流も進めています。日本では1929年に大阪で最初のクラブが設立。埼玉クラブは1976年創立。浦和区を拠点に活動しています。

詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553)
または Y's Men International 東日本区の下記 URL をご参照ください。

<https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>